

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名 堺市文化振興財団事業補助		シート番号		A 一般事務事業	
担当部署名 文化観光 局 文化 部 文化 課		評価責任者(課長名)		辻尾	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	文化芸術活動の振興	無
	2	事業開始年度	平成 6 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	文化芸術基本法			
	4	関連計画	自由都市堺文化芸術推進計画			
5	事業実施の経緯	堺市文化振興財団は、平成6年4月1日に文化創造の推進母体として設立され、市の政策方針のもと、市民への文化芸術鑑賞機会の提供、市民文化活動の活性化、新進芸術家の発掘育成、子どもの芸術体験の場の創出等の事業を展開してきた。堺市マスタープランの中で、重点的に取り組むプロジェクトのひとつとして「歴史文化のまち堺・魅力創造への挑戦！」を掲げており、新しい文化創造の促進など文化芸術機能を強化するための事業を実施していくとしている。今後、市の文化政策実現に向けて財団の果たす役割が益々重要になってきたところである。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input checked="" type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	・市民 ・市外の文化芸術等に興味のある方			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市民が身近に文化芸術に触れることのできる環境が創出され、生活に潤いや心の豊かさを感じ、子どもの感性が磨かれるとともに、個性豊かな文化的魅力に満ち、内外の人々で賑わうまちにする。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	(公財)堺市文化振興財団が実施する以下の目的をもった事業に対する補助 ・将来の文化の担い手や鑑賞者を育成するための子どもたちへの文化芸術の普及事業 ・次代を担う新進芸術家の育成、支援事業 ・市民自らが舞台に立つことなどでより深い感動を味わえる市民参加事業 ・堺独自の歴史・文化資源を活用することで、内外の人々が堺に魅力と愛着が感じられる事業 具体的には、舞台芸術公演(オーケストラ、ジャズ、能・狂言、落語、演劇、邦楽等)や美術系イベントの実施、イベント情報紙やホームページによる文化芸術の情報発信などである。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 公益財団法人 堺市文化振興財団				

Ⅲ. 投入量

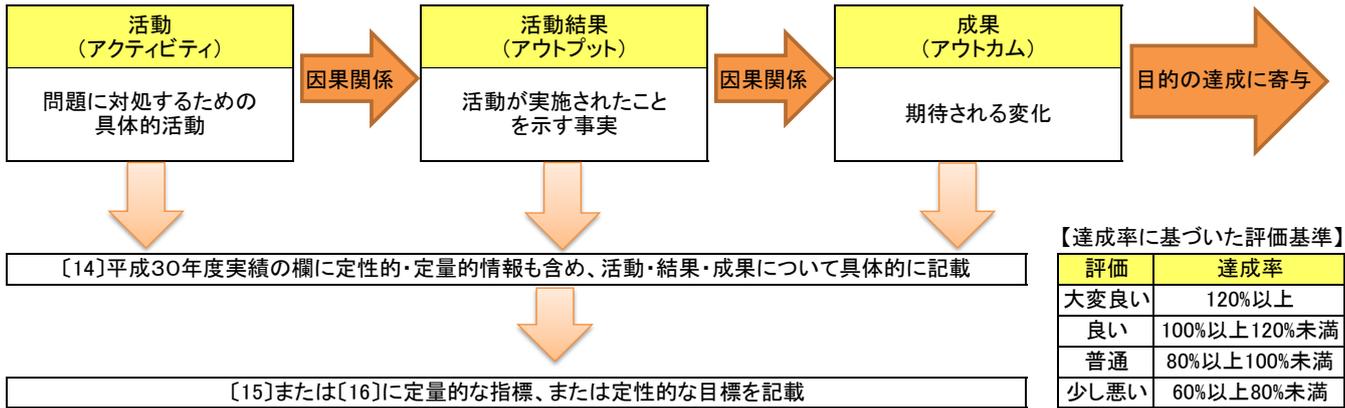
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	144,989	170,639	153,342	148,192
	主な事業費内訳	補助金	千円	144,989	170,639	153,342	148,192
			千円				
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	一般財源	千円	144,989	170,639	153,342	148,192	
12	人件費 (b)	千円	820	820	820	810	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	145,809	171,459	154,162	149,002	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	堺市文化振興財団事業補助	シート番号	08-35
-------	--------------	-------	-------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>(公財)堺市文化振興財団が行う文化芸術事業や事務局運営等に要する経費の一部を補助する。 平成30年度の補助対象事業は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人堺市文化振興財団の事務局運営 ・文化芸術振興事業費 ・各種自主ホール公演(18本) ・広報誌、チケットシステム、会員制度 ・事業管理、総務管理 						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	(公財)堺市文化振興財団が行う文化芸術事業(ホール公演等)の入場者数		人	目標値	28,000	28,000	28,000	28,000
			実績値	18,076	17,959	22,900		
			達成率	65%	64%	82%		
			評価	少し悪い	少し悪い	普通		
	算出方法・設定根拠など		堺市文化振興財団が主催する事業の入場者数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	ホームページアクセス数		件	目標値	170,000	170,000	170,000	170,000
			実績値	139,222	161,968	123,386		
			達成率	82%	95%	73%		
			評価	普通	普通	少し悪い		
	算出方法・設定根拠など		堺市文化振興財団が運営するホームページのアクセス数					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	<p>事業本数自体は減っているものの、フェニーチェ堺の2019年秋グランドオープンを見据えて、より質の高い公演を新たに開催することで、入場者数を増やすことができた。 また、毎年恒例の公演をブラッシュアップすることで、地域住民への定着を図るとともに、新たなファンを増やしたことも入場者数の増加に寄与したものと考えられる。 ホームページアクセス数については、堺市文化振興財団が運営するホームページのアクセス数自体は減少したが、別途作成しているフェニーチェ堺のホームページの閲覧数が大きく伸びており、両サイトが連携していくことで、今後の伸びが期待できる。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。